

Bell Forum

ベルフォーラム

2009
SUMMER

No.25

地域と職員と共に栄えるチーム



夏の華

撮影：医療法人朝日会 副院長 大石 光雄氏

●医療最前線：産婦人科の挑戦

- 連載：登録医のご紹介
- TOPICS：ピンクリボン活動への取り組みについて
第4回泉北病診連携皮膚科の会を開催
大阪府がん診療拠点病院に指定されました



社会医療法人 生長会

ベルランド総合病院

産婦人科の挑戦



周産期母子センター
しみず いくや
センター長 清水 郁也

Profile

昭和54年 大阪大学 医学部卒業
 // 同 産科婦人科学教室 入局
 昭和55年 大阪労災病院産婦人科
 平成57年 大阪府立母子保健総合医療センター周産期第1部
 昭和58年 大阪大学医学部 研究生
 昭和60年 大阪大学医学部産科婦人科学教室 助手
 昭和62年 大阪府立母子保健総合医療センター 産科
 平成5年 久産婦人科
 平成7年 大阪府立母子保健総合医療センター 産科
 平成9年 ベルランド総合病院 産婦人科 部長
 平成15年 // 周産期母子センター長兼副院長
 資格
 日本産科婦人科学会認定：専門医
 母体保護法指定医

当院産婦人科は、平成9年10月にNICU（新生児集中治療室）の施設基準が認可され、他の医療施設から妊産婦さんの搬送受け入れを開始し、OGCS（大阪府産婦人科相互援助システム）の基幹病院として活動してきました。平成20年度からは、大阪府より地域周産期母子医療センターとして認可され、妊産婦さんのための診療拠点施設として位置付けられています。

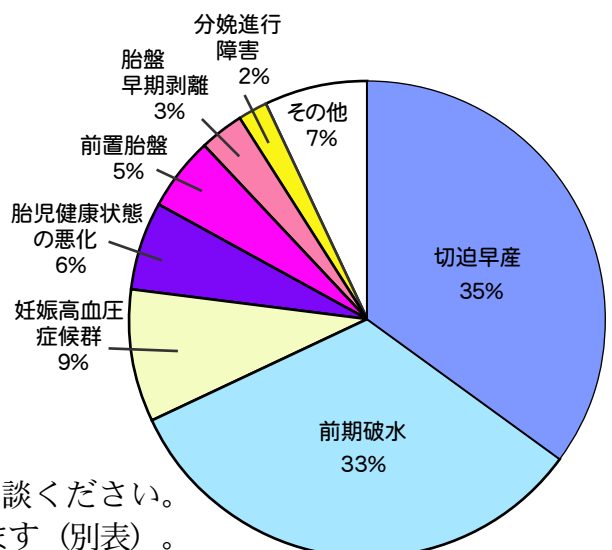
産科

一般の妊婦さんたちの妊婦健診や分娩を受け入れるほか、総合病院としての特色を生かしてさまざまな合併症をお持ちの妊婦さんたちも受け入れています。当科のひとつの特徴として、産婦人科看護スタッフ全員が助産師であり、外来から分娩、産後にいたるまで助産師が密接にお世話いたします。また、24時間緊急帝王切開に対応可能で、小児科・NICUとの連携により、緊急時には常に小児科医が分娩に立ち会うなど、色々な状況における母体・胎児・新生児の問題に対応しています。

・産科救急

地域周産期母子医療センターとして、他の診療施設からの妊産婦さんたちの救急搬送を受け入れています。搬送理由の内訳をグラフに示しました。

特に、本年4月からは、大阪大学産婦人科村田名誉教授にも診療に加わってもらい、質の高い産科医療を提供しています。



婦人科

婦人科疾患一般に対応していますので、何でもご相談ください。外来診察は地域の先生方にも担当御支援いただいております（別表）。不妊症で体外受精など高度不妊治療の必要な方は、当法人の府中のぞみクリニック等を紹介させていただいています。

	月	火	水	木	金	土
産科(AM)	白石	土田	三宅	清水	土田	村田
産婦人科(PM)	村田	土田	三宅	清水	—	—
婦人科(AM)	三宅	白石	★西川	★小野	★浜中	—
1ヶ月検診(PM)					土田	

* 赤字は女性医師です。

* ★は堺産婦人科医会先生方による診察です。

* 午後診察は予約のみで、初診・予約外の患者さまは、午前診察にお越しください。

(2009年7月1日現在)

患者さまへ

私どもは、あらゆる状況の妊婦さんに、出産や育児の喜びを体験していただくこと、そして、妊娠・出産以外の場面においては生涯にわたる女性のヘルスケアを目標として診療しています。今後はより一層医師数や専門内容の充実に取り組みつつ、診療を充実させ、地域の皆様に貢献したいと考えています。

登録医・開業医の先生方へ

外来患者様のご紹介には、産科は月曜日から土曜日まで、婦人科は月曜日から金曜日まで対応いたします。



周産期医療研究所

むらた ゆうじ
所長 村田 雄二

昭和42年3月 大阪大学医学部医学科 卒業
 昭和43年4月 大阪大学医学部産科婦人科学教室 入局
 昭和61年7月 カリフォルニア大学アーバイン校
 医学部産婦人科教授 就任
 平成 8年4月 カリフォルニア大学アーバイン校 名誉教授
 平成 8年4月 大阪大学医学部産科学婦人科学教室教授 就任
 平成14年4月 大阪大学医学部附属病院副院長 就任
 平成18年4月 大阪大学名誉教授
 平成18年4月 社会福祉法人石井記念愛染園 愛染橋病院院長就任
 平成21年4月 社会医療法人生長会 周産期医学研究所所長
 兼 医学教育センター長 就任
 // ベルランド総合病院にて産婦人科診療開始

NEWS

J. T. パーラー教授 特別講義

7月10日(金)、医学教育センター主催で、カリフォルニア大学サンフランシスコ校 J. T. パーラー教授を招聘し、ケースカンファレンスと講義の特別プログラムを実施しました。

当院の産婦人科医、初期研修医、助産師、助産学科担当教師に加え、国立循環器病センターや近畿大学の先生方もご参加いただき、40名のホットなディスカッションで盛り上がりました。

医学教育センター 満壽川 修



今回は、東区大美野にて開業していらっしゃいます尾崎院長をご紹介します。

診療科目：内科・消化器科

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
17:00～19:30	○	○	○	/	○	/



住所：堺市東区大美野150-5

TEL：072-234-3001 FAX：072-234-1258



おさき しんいち
尾崎 晋一 先生

Q1. 標榜科は何ですか？

Ans. 内科・消化器科です。

Q2. 医師を目指した動機（きっかけ）は？

Ans. 父が開業医で、父の背中を見て、自分も医師を志しました。

Q3. 診察する際に心掛けている事は何ですか？

Ans. 内科医として、患者さんの状態を観察して、本人も自覚していない症状を見つける事です。

Q4. 地域医療について

Ans. 現在の医療崩壊を少しでもくい止めるべく、病院と連携して、患者さんの一家全員の健康管理に尽くす事と考えています。

Q5. 当院への希望・要望

Ans. 今までも、多くの改善の提案をさせて頂き、それに対して真摯に対応・改善して頂き感謝しています。これからもいっそうの改善に取り組まれる事を期待します。

Q6. 最後に一言お願いします

Ans. 地域医療の一翼をになうべく、質の高い医療を志し、これからも当院のスタッフと伴に努力する所存です。よろしくお願いします。



大阪府

がん診療拠点病院に指定

企画室 室長補佐

池上 正樹

昨年、大阪府におきまして、専門的ながん診療機能の充実とがん医療水準の向上を図ることを目的に、「大阪府がん診療拠点病院」制度が創設されました。これは、現在15施設ある国が指定する「地域がん診療連携拠点病院」に加え、これと連携して、がん医療水準の向上に努めるとともに、緩和ケアの充実、在宅医療の支援、家族等に対する相談支援、がんに関する各種情報の収集・提供などの機能を備えた病院に対して評価をおこない、広く府民の皆さんにお知らせするための制度です。

本年3月に開催されました大阪府がん診療拠点病院選定委員会において審議された結果、当院のがん診療機能および診療実績が高く評価され、平成21年4月1日から「大阪府がん診療拠点病院」に指定されることになりました。これからも、がん医療の一層の充実と向上を図ってまいりますので、よろしくお願いいたします。



登録医のご紹介

平成21年7月22日現在 登録医総数 **245件**

地区名		医療機関名	院長名
泉大津市	戎町	川端医院	かわばた とおる 川端 徹
富田林市	津々山台	はくゆう 柏友クリニック	みちばた いわお 道旗 巖
河内長野市	木戸西町	はくゆう 柏友千代田クリニック	おかだ のりゆき 岡田 範之
北区	奥本町	石原内科	いしはら とよあき 石原 豊秋
東区	北野田	太田医院	おおた しゅんすけ 太田 俊輔
東区	日置荘西町	はつしば山本クリニック	やまもと ゆうとよ 山本 雄豊
東区	白鷺町	郷クリニック	ごう せいご 郷 誠吾
南区	三原台	井上クリニック	いのうえ よしかず 井上 嘉一
西区	上	かとう鳳クリニック	かとう さとし 加藤 聡
西区	上	しまたに小児科	しまたに まさたか 島谷 昌孝
西区	上	まつかわ整形外科クリニック	まつかわ まさたか 松川 将隆
堺区	南三国ヶ丘町	上野内科・小児科クリニック	うえの ようじ 上野 洋史

(敬称略)

第4回泉北地区病診連携皮膚科の会を終えて

地域医療連携室

リーダー 八坂 祐子



などを分かりやすくグラフに示してご講演いただきました。

早期病変の重要性について、
1. 早期発見し治療すれば転移・再発がほとんどない。

2. 治療が比較的シンプルに計画できる。手術が主で化学療法や放射線療法などの補助療法が必要な場合が多い。病変の切除範囲が小さい。と、いかに早期病変での対応が重要であるか理解できました。早期皮膚悪性腫瘍の診断には、生検・ダーモスコピー検査（色素性病変を鑑別診断するための非侵襲的検査）・超音波検査が用いられ、ダーモスコピーで撮影した画像の紹介もありました。

平成21年6月13日（土）に、リーガロイヤルホテル堺におきまして「第4回泉北地区病診連携皮膚科の会」を開催いたしました。当日は、院外より15名、院内より20名、合計177名と多数の方に参加いただきました。

特別講演Ⅰは近畿大学医学部

皮膚科講師吉田 益喜先生による

「皮膚悪性腫瘍の早期病変と臨床像」というテーマで、皮膚悪性腫瘍について、病期・特徴・発生数



近畿大学医学部
皮膚科講師 吉田 益喜先生



NTT東日本関東病院
皮膚科部長 五十嵐 敦之先生

また、特別講演Ⅱでは「日常診療に役立つ皮膚科の知識」というテーマで、NTT東日本関東病院皮膚科部長 五十嵐 敦之先生にご講演いただきました。

アトピー性皮膚炎、夏に遭遇しやすい疾患についてのご講演でしたが、アトピー性皮膚炎については、発症のメカニズムを分かりやすく図で説明していただき、ステロイド外用薬使用の使い分けや部位別吸収度の違い、小児におけるステロイド外用薬使用のポイントについても具体的に分かりやすい講演でした。アトピー性皮膚炎の治療のゴールとして、1. 治すことではなく、コントロールすること 2. 通常の社会生活を営むの



(写真中央) 近畿大学医学部 皮膚科 川田教授
(写真右端) あまつ皮膚科 天津院長

に支障のない範囲で皮膚炎をコントロールする 3. アトピー性皮膚炎は成長するに従い自然寛解する疾患である 4. 初期のうちから治療をして難治化させないことが大切という事でした。今までの治療経験談を交え多くの写真を提供していただき、非常に分かりやすい内容でのご講演となりました。今後とも有意義で今後の診断・治療・指導等に役立つ本会を継続して参ります。

ピンクリボン運動街頭啓発キャンペーン

～乳がんによる悲劇をなくしたい～

PINK RIBBON

7月4日(土曜日)正午前、堺市の泉北ニュータウンの中心にある泉ヶ丘駅は、ピンクの制服を着た看護師やベージュ色の制服を着た職員が駅の片隅を占めていました。総勢32名。ベンチに座っている人からは、「ベルランド病院の職員!」と囁かれています。



職員達は、全員ピンクリボンのバッチを付け、堺市医師会後援と書かれた乳がんの啓発チラシ、堺市でいただいた乳がん検診受診のお誘い、また企業からいただいた乳がん予防チェックのパンフレットをセットにしたビニール袋を持って、駅コンコースや広場に散り、乳がん予防啓発を始めました。その姿は慣れないはずなのに、普段よりも生き生きとし、道行く人にしっかりと声をかけていました。用意した1000のセット、3000個のティッシュも瞬く間になくなってしまいました。

また、乳がんの自己指導コーナーでは反響が大きく、指導に参加したスタッフからはこんなに感心が高いとは知らなかったと驚きの声が上がっていました。



▲乳房の模型で触診体験
(アフラックサービスショップアリオ鳳店 協力)

さらに、同時に行われた募金活動では、数時間で4万円近く集まり、関心の深さと助け合いの精神に感銘しました。

ベルランド総合病院は、平成16年9月に地域医療支援病院の指定を受け、本年4月には『**大阪府がん診療拠点病院**』に指定されました。地域の医療活動の中核になるべく、がんに対するさまざまな取り組みを進めてきましたが、職員の中から「乳がんによる悲劇を無くしたい、ピンクリボン運動をもっと広げたい」という声上がり、病院全体で取り組むことになりました。

さらに、こうした取り組みを、地域全体の大きな運動にしたいとの思いから、医師会や行政、企業と共同で行うことになりました。今後も、街頭キャンペーンを継続していくことや、市民対象の勉強会、乳がん検診の受入れ枠の拡大等を予定しています。乳がん撲滅に向けて皆さんとともにピンクリボン運動を推進していきたいと考えております。

最後に、ご協力いただいた堺市医師会・アフラックサービスショップアリオ鳳店・各製薬メーカーの皆様にご心より感謝申し上げます。

管理部 副部長 雑賀 剛



医療安全管理室 専従看護師の役割

医療安全管理室
主任 宮田 佳子

平成18年3月
国立保健医療科学院
安全管理研究科 修了
以後、医療安全管理室にて
専従看護師として勤務



業務内容

当院では、3年前にインシデント・アクシデント報告システムを紙ベースからWeb版に変更したことや、医療安全管理室の設立から6年経過したこともあり、月平均350件~450件が報告されてきます。

医療安全管理室の日常業務では、報告内容の把握と現場への追加調査で50%を占め、残りは安全ラウンド、リスクカンファレンスへの参加や、事例分析（FTA：Fault Tree Analysis）のコンサルトと改善策の立案と導入など、多種多様な業務を行っています。

インシデント・アクシデント報告では、個別事例とは別に累積データを用いた分析も行っています。例えば、報告件数の約9割が看護部から報告されており（図1）、事象別では「内服薬」「注射薬」に関する報告が多く、次に「チューブ・ルート管理」に関する報告が多く出されています（図2）。

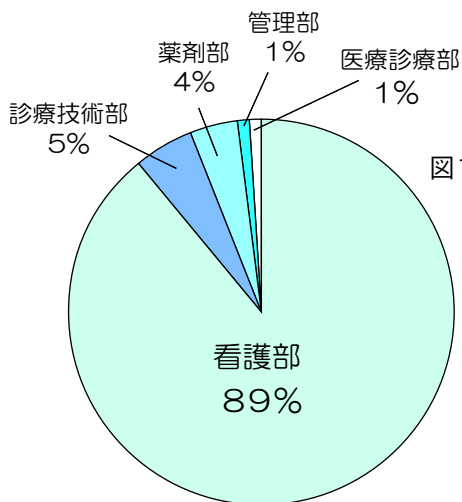


図1.平成20年度
インシデント・アクシデント
報告部署

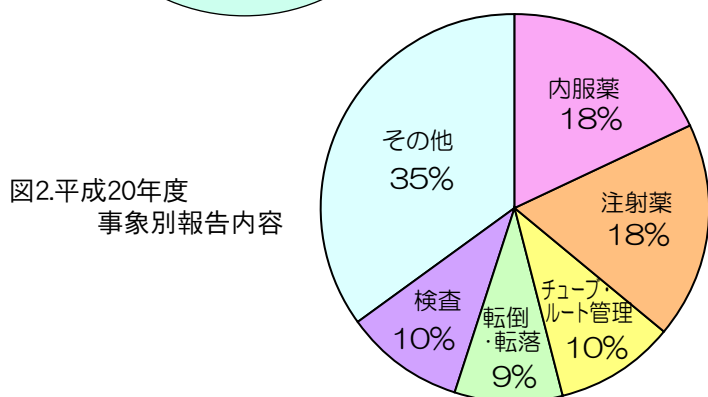


図2.平成20年度
事象別報告内容

活動事例

事象別で最も報告件数の多かった「内服薬」では、病棟看護師が当事者となっていることがほとんどであるため、看護マニュアルを見直し、改訂することにしました。

それまでのマニュアルでは、誤薬事故を防止する目的で、患者様に与薬するまでに、何度も看護師が、処方箋・オーダー確認表・薬袋・実際の薬剤を同時に確認するという方法をとっていました。

マニュアルの変更時に気をつけたこと

作業工程が増えればエラーの発生確率も高くなるため、工程数（作業数）を減らすようにしました。また、何と何を照合するのかを明確にすることで確認作業の信頼性は維持できるようにしています。

新しいマニュアルを遵守してもらうための教育

マニュアルをビデオにし、新人教育で使用しています。ビジュアルにすることで、疑似体験として記憶できるため、正しい方法でマニュアルを身につけていくことが期待できます。

マニュアル改訂後の追跡調査

改訂しただけで満足するのではなく、マニュアル遵守状況を確認するための薬剤部、看護部、医療安全管理室の3部署で院内ラウンドの実施を行っています。チェックリストをもとに、各病棟がマニュアル通りに実施出来ているかをチェックし、出来ていなければその場で指導を行っています。

マニュアル変更後の改善効果

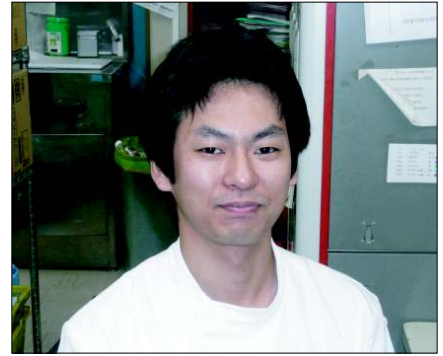
入院患者数を分母とした、インシデント・アクシデント報告件数での発生確率では、有意な改善効果は認められませんでした。しかし、例年4~6月は、新卒者によるエラー増加傾向を認めるものの、今年度は現在のところ増加傾向を認めていません。インシデント報告は任意性が高いこともあり、今後も統計的な調査を継続していきます。

今回は内服薬の改善事例だけを取り上げましたが、他の事象についても同様に、今後もあらゆる側面からエラーの背景要因を洗い出し、再発防止を行っていきたくと思っています。



日本病院薬剤師会認定 がん専門薬剤師

薬剤部
渡邊 裕之



がん専門薬剤師とは

日本病院薬剤師会認定の『がん専門薬剤師』は、がん治療の現場で患者さまのために、その専門知識と技能と経験を活かすことを目的としています。本資格を取得するためには、まず「がん薬物療法認定薬剤師」の資格を取得する必要があります。

「がん薬物療法認定薬剤師」になるためには、定められた研修施設でがんに関する実技研修を3ヶ月以上履修していること、がん領域の講習会などを所定の単位以上履修していること、がん患者への薬剤管理指導の実績50症例以上(複数のがん種)を満たしていること、などが要件として定められています。

『がん専門薬剤師』は、さらに
①申請時において、日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会のいずれかの会員である
②がん領域に関する学会発表が3回以上(うち、少なくとも1回は発表者)、複数査読制のある国際的あるいは全国的学会誌・学術雑誌にがん領域に関する学術論文が2編以上(うち、少なくとも

も1編は筆頭著者)の全てを満たしている

③日本病院薬剤師会が行うがん専門薬剤師認定試験に合格している

といった条件をすべて満たすことで認定されます。

当院における

がん専門薬剤師の役割

今まで当院のがん医療推進委員会を通じ、がん治療に携わる薬剤師として様々な取り組みを提案・実現してきました。

主な取り組みとしては

- ①がん化学療法レジメン登録制度の推進
- ②レジメン登録時のエビデンスに基づいた処方鑑査
- ③市販データベースソフトによるがん化学療法調製業務支援システムの構築
- ④臨床検査データ上の中止基準の設定と、効率的な鑑査体制の確立
- ⑤FMEAによる肺がん化学療法パスの作成
- ⑥緩和ケアチームへの参加
- ⑦がん化学療法や緩和ケアの有害事象対策で用いる薬剤に関する

マニュアル作成

と多岐に及びます。これらの取り組みは、学会発表や論文などを通じて他の医療機関からも評価をいただいております。こうした幅広い取り組みに関与することで、その専門性を活かし、がん治療の充実化を進めていくことも、がん専門薬剤師の役割であると感じております。

今後も、患者さまや他の医療従事者、さらには地域医療に携わる諸施設の方々との連携を図り、より良い治療を提供できる環境を整えていけるよう努力していきます。



▲施設見学者に、レジメン登録制度の流れや、独自に作成した「がん化学療法調製業務支援システム」について説明

おうちで簡単手ごねパン!

患者様相談室
主任 小島 由記子

パン屋さんで売っているようなパンが作れたらいいなあ~と思った事はありませんか?

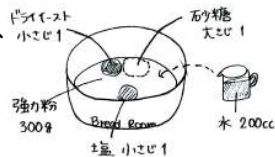
お家で作れるんです!愛情たっぷりの手ごねパン。さあ、みんなで作ってみましょう!!

焼きたてパンはとても美味しいので、ぜひ味わって下さいね。

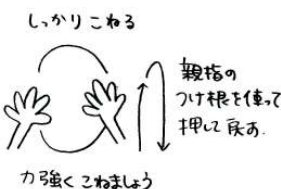
◆材料(まるぱん12個分)◆

(生地)			
強力粉	300g	レーズン	40g
ドライイースト	小さじ1	(ラム酒等リキュールに漬けておく)	
砂糖	大さじ1	くるみ	35g
塩	小さじ1	(ローストしたもの)	
無塩バター(室温)	5g		
水	200cc		

①ボウルに強力粉、イースト、砂糖、塩、水を入れ、粉っぽさがなくなるまで木ベラで混ぜる。



②こね台(まな板でもOK)に①を出して手でこねる。全体がまとまったらバターを入れ、表面がツルツとなるまで力強くこねる(約15分)。



③生地を半分に分け、こね台の上に生地を広げる。1つはレーズンを、もう1つはくるみを入れて包み、まんべんなく具が行き渡るように軽くこねる。



④表面がキレイになるように丸め、とじ目を下にしてそれぞれボウルに入れる。



⑤生地が乾燥しないようにラップとぬれ布きんをかけて常温で約30分発酵させる。



【一次発酵】

⑥生地が約2倍に膨らんだら発酵が来ているかチェック!

【フィンガーテスト】

指に強力粉をつけ、生地の中までそっと差し込む。指を抜いても穴がふさがらなければ発酵完了。

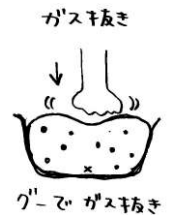


(もし穴がふさがってきたら...発酵が不十分なのでもう少し時間を置いて様子を見ましょう。)



⑦手をグーにして生地をポンポンと押しガスを抜く。

【ガス抜き】



⑧ボウルから生地を取り出し、12個に分割する。(生地の重さ÷12で計量してね!)

【分割】

⑨12個全て表面がキレイになるように丸め、とじ目はしっかり閉じる。とじ目を下にし、ぬれ布きんをかぶせて約5分間生地を休める。

【丸め直し】【ベンチタイム】

⑩とじ目を上にし、手のひらでポンポンとたたいてガスを抜き、生地の表面が張るように丸める。

表面に強力粉をつけて、とじ目を下にし天板へ並べる。

【成形】

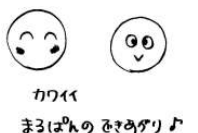
⑪生地を並べた天板に、ラップとぬれ布きんをかけて暖かい所(約38~40℃)で約25分間発酵させる。

【二次発酵】

⑫オープン余熱

(電気オープン200℃)

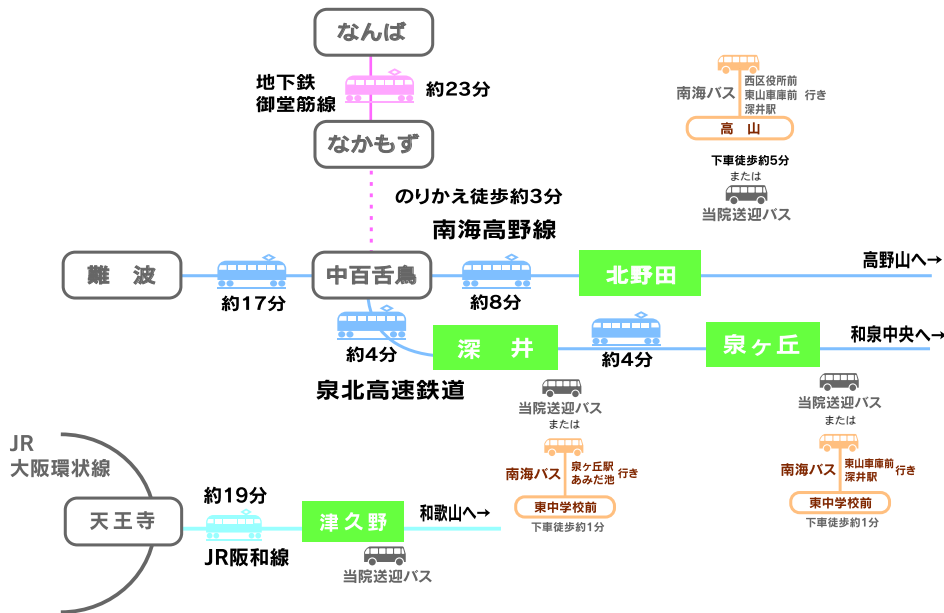
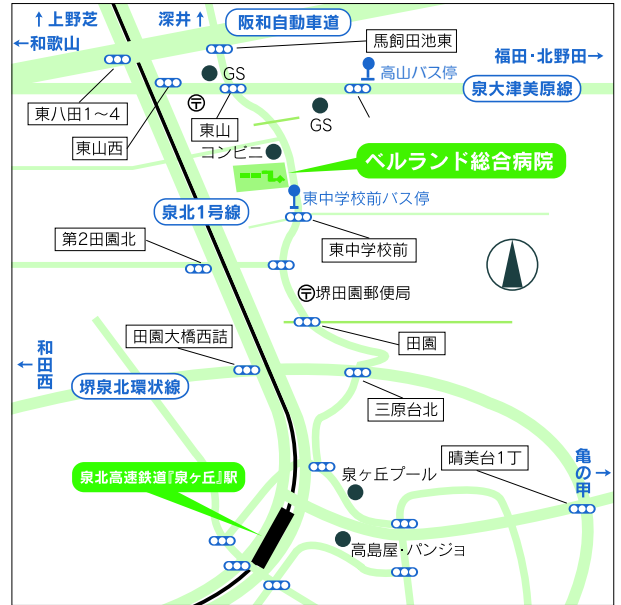
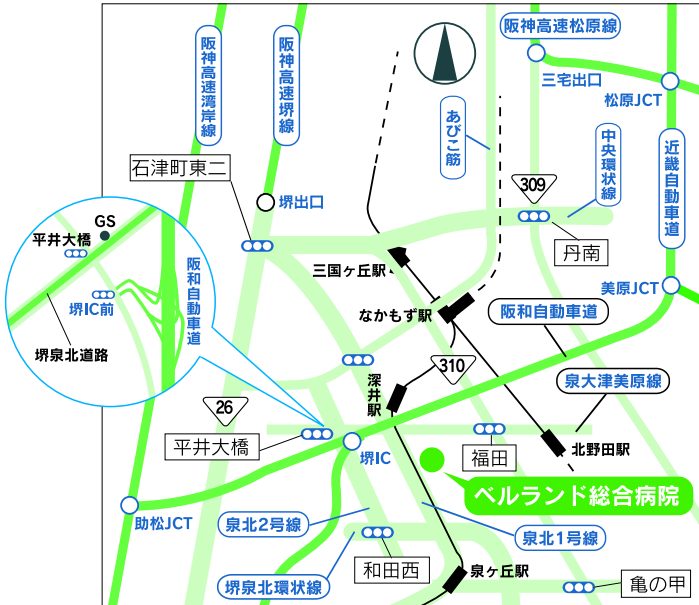
⑬余熱が終わればラップと布きんを取り、オープンへ入れる。200℃で15~18分。焼き色を見て、焼き時間を調整しましょう。



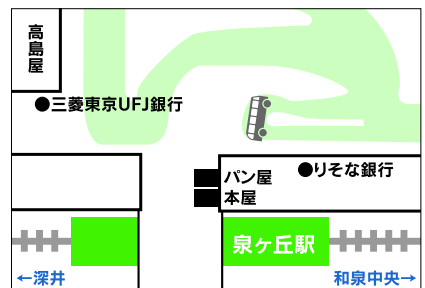
表面はカリッ!中はモチリ!!
粉の風味を楽しんで味わいましょう♪

交通のご案内

- ▼大阪方面から：泉北1号線深井駅北より側道へ入る。2個めの信号（東山西）を左折、つぎの東山交差点を右折して直進。
- ▼南大阪方面から：泉北1号線泉ヶ丘駅付近をすぎて、堺泉北環状線方面の側道に入る。
田園大橋西詰交差点から側道の2個めの信号を右折、突き当りの交差点を左折して直進。
- ▼阪和自動車道から：堺IC堺出口を右折。平井大橋交差点を右折して約2kmの馬飼田池東交差点を右折約1km。
- ▼阪神高速湾岸線から：助松JCTより堺泉北有料道路へ入る。平井（深井方面）出口から約2kmの馬飼田池東交差点を右折約1km。



■泉ヶ丘駅 送迎バス乗り場

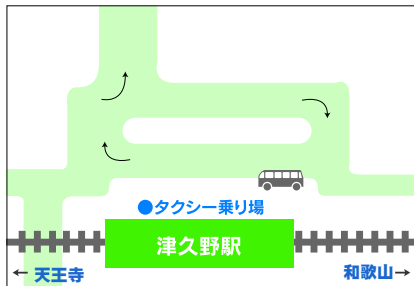


【泉ヶ丘駅発→ベルランド総合病院行き】
7:30～13:45まで毎時00・15・30・45分発
14:00～19:30まで毎時00・30分発

【ベルランド総合病院発→泉ヶ丘駅行き】
7:20～13:50まで毎時05・20・35・50分発
14:20～19:20まで毎時20・50分発

※南海バス（東山車庫前・深井駅行き）バスは、1時間あたり約2本出発

■津久野駅 送迎バス乗り場



【津久野駅発 ベルランド総合病院行き】
10:20・13:20・15:20

【ベルランド総合病院発→津久野駅行き】
10:00・13:00・15:00

■深井駅 送迎バス乗り場

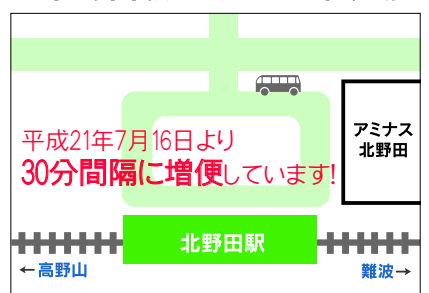


【深井駅発→ベルランド総合病院行き】
10:35・13:35・15:35

【ベルランド総合病院発→深井駅行き】
10:00・13:00・15:00

※南海バス（泉ヶ丘駅・あみだ池行き）バスは1時間あたり約4本出発

■北野田駅 送迎バス乗り場



【北野田駅発→ベルランド総合病院行き】
8:45～17:15まで毎時15・45分発

【ベルランド総合病院発→北野田駅行き】
8:30～17:00まで毎時00・30分発

※南海バス（西区役所前・東山車庫前・深井駅行き）バスは、1時間あたり約3本出発

Bell Letter

地域医療連携室では、以下の業務を行っています。

- ①診察・検査の予約
- ②入院の受け入れ
- ③診療情報提供書の返信チェック
- ④当院からの逆紹介
- ⑤共同診療の運営・管理

①②に関しましては、医師への確認・院内調整を行い、
予約票（来院日時）を作成しFAXにてご報告いたします。

その他、ご依頼等がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

地域医療連携室業務時間

月～金曜日（午前9時～午後8時）
土曜日（午前9時～午後5時）

医療機関様専用

TEL：0120-13-9215（直通）

FAX：0120-53-0096（直通）

一般の方は、代表番号(072-234-2001)におかけ下さい。